

平成21年度

国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況

(要約)



平成22年9月
農林水産省

管理経営基本計画の実施状況について

国有林野事業では、国有林野の管理経営の基本方針を明らかにするため、あらかじめ国民の皆さんのご意見をお聴きした上で、「国有林野の管理経営に関する基本計画」（以下「管理経営基本計画」という。）を策定し、これに基づき管理経営を行っています。

管理経営基本計画は、10年を1期とする計画で、5年毎に改定することとなっています。

平成21年度は、平成20年12月に定めた平成21年4月から平成31年3月までの10年間の計画期間とする管理経営基本計画の初年度に当たり、名実ともに「開かれた『国民の森林』」を実現していくための以下のような取組を推進しました。

- ☆ 国土保全や水源かん養等の公益的機能の維持増進を旨とした管理経営の一層の推進
- ☆ 森林環境教育への貢献や森林とのふれあい、国民参加の森林づくり等の積極的な推進
- ☆ 地球温暖化防止や生物多様性の保全等新たな政策課題への率先した取組の推進
- ☆ 双方向の情報受発信を基本とする対話型の取組の推進

この報告は、こうした平成21年度における管理経営基本計画の実施状況を、国民の皆さんにご理解いただけるよう写真や図表などを用いて、できるだけわかりやすく記載したものです。

平成21年度の主な取組

(1) 公益的機能の維持増進

○ 健全で多様な森林づくり

土砂崩れなどの山地災害の防止や洪水の緩和等を目的として、間伐等の施業、100年程度の長い周期で伐採や植林を繰り返す長伐期施業や、育成複層林施業等を推進しました。

《事例》 水源林での育成複層林施業の実施

あがわ ちょう
〔高知県吾川郡いの町〕
れいほく
(四国森林管理局 嶺北森林管理署)



育成複層林施業地の林内



水源林である国有林の遠望

○ 民有林との連携

地方公共団体や民有林所有者等と森林管理署等との間で協定を締結して「森林共同施業団地」を設定し、民有林と国有林との連携により、森林整備をより効率的に実施しました。

《事例》 民有林と国有林が一体となった森林整備の推進

ながわ ちゅうしん
〔長野県松本市〕
(中部森林管理局 中信森林管理署)



ながわ
松本市奈川地区における
森林整備協定の締結

○ 間伐の推進と間伐材の有効活用

森林の健全性を保つとともに、地球温暖化防止に貢献するため、間伐を積極的に推進しました。間伐材は、木材の有効利用の観点から、搬出・供給に努めました。

《事例》 低コスト・高効率作業システムによる間伐の推進
〔長野県伊那市〕（中部森林管理局）



列状間伐後の人工林



高性能林業機械による
間伐材の搬出

○ 森林施業の低コスト化の取組

間伐等の森林整備を高性能林業機械を活用して低コストで効率的に推進するため、林道と組み合わせて継続的に利用する作業道等を整備するとともに、民有林への普及にも取り組みました。

《事例》 低コスト路網現地検討会の開催
〔福島県喜多市〕（関東森林管理局 会津森林管理署）



民有林関係者を対象とした低コスト路網現地検討会



○ 安全・安心な暮らしを守る治山事業の推進

安全で安心できる暮らしを確保することを目的に、治山事業により、荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に進めました。

《事例》 岩手・宮城内陸地震の災害復旧（民有林直轄治山事業）
〔岩手県一関市〕（東北森林管理局）



災害発生直後



災害復旧工事施工中

○ 山地災害への迅速な対応

甚大な山地災害発生時に、治山技術を有する職員等を現地に派遣し、民有林における被害調査に協力するなど、地域の安全・安心の確保のため、迅速に対応しました。

《事例》 中国・九州北部豪雨における民有林の災害復旧に対する支援
〔山口県防府市〕（近畿中国森林管理局）



国有林職員による民有林の災害復旧計画作成への協力



(2) 森林環境教育への貢献、森林とのふれあいの推進

○ 森林環境教育の推進

森林環境教育の実践の場として国有林野を利用いただけるよう、学校等と森林管理署等が協定を結び、国有林野の豊かな森林環境の中で子どもたちが様々な自然体験や自然学習を進める「遊々の森」の協定締結を進めました。

《事例》「遊々の森」を活用した森林環境教育の推進
〔北海道美唄市〕（北海道森林管理局 空知森林管理署）



木の健康診断の体験



木登り体験

○ 国民参加の森林づくりへの支援

自ら森林づくりを行いたいという国民の皆さんの要望にこたえるため、ボランティア団体等と森林管理署等が協定を結び、国有林野をフィールドとして森林づくり活動を進める「ふれあいの森」の協定締結を進めました。

《事例》「ふれあいの森」を活用した森林づくり活動の推進
〔京都府京都市〕
（近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所）



国有林職員の技術指導による除伐作業

○ 地域の皆さん等と連携した自然再生の推進

希少種の保護や植生の復元など生物多様性の保全や自然再生に取り組む地域の皆さん等と連携し、現地調査やその結果に基づく植生復元活動等に取り組みました。

《事例》地域との連携による自然再生の取組

〔北海道北見市〕
（北海道森林管理局 常呂川森林環境保全ふれあいセンター）



「オホーツクの森」における地域の皆さんと連携した自然再生のための活動

○ 木の文化の継承への貢献

次の世代に引き継ぐべき木の文化を守るため、新たに「平泉古事の森」を設定し、木の文化を支える森づくりを推進しました。

《事例》「平泉古事の森」の取組
〔岩手県西磐井郡平泉町〕
（東北森林管理局 岩手南部森林管理署）



協定書締結式



中尊寺等の修復資材となるヒバ等の植樹

(3) 新たな政策課題への率先した取組

○ 地球温暖化防止対策の推進

地球温暖化を防止するため、間伐の積極的な実施等、多様で健全な森林の整備・保全に率先して取り組むとともに、間伐材の有効利用や木材利用の普及啓発などに努めました。

《事例》 地域材の利用促進
〔高知県土佐郡土佐町〕
(四国森林管理局)



地域の皆さんを対象とした地域材についての学習会

○ 野生鳥獣被害の防止

シカなど野生鳥獣による被害を防止するため、地方自治体やNPO等と連携して、生息環境整備や個体数管理、被害箇所の回復措置等の総合的な対策に着手しました。

《事例》 地域と連携したニホンジカ被害対策の推進
(中部森林管理局)



ボランティアの皆さん等との連携によるシカ被害防護柵の設置
〔長野県伊那市〕



国有林職員によるくくりワナの設置
〔長野県下伊那郡豊丘村〕

○ 生物多様性の保全

国有林野に多く残されている原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育する森林を保護林や「緑の回廊」として設定し、その保全・管理を行うとともに、人工林の間伐等適切な森林施業の実施により多様な林分構造の維持、整備等を進めるなど、生物多様性の保全に努めました。

《事例》 森林生態系保護地域の保全・管理
〔鹿児島県熊毛郡屋久島町〕 (九州森林管理局)



屋久島世界遺産地域
科学委員会



委員会委員による原生的な森林の視察

《事例》 「オオタカモデル森林」の設置
〔群馬県安中市〕 (関東森林管理局 群馬森林管理署)



オオタカモデル森林施業検討委員会の現地検討会



オオタカ行動圏調査のための電波発信器とりつけ

(4) 双方向の情報受発信による対話型の取組

○ 国有林野事業に対する国民の皆さんのご意見の反映

「国有林モニター会議」に加えて、新たに「地域管理経営計画」策定に当たり地域懇談会を開催するなど国民の皆さんに幅広く情報を提供するとともに、森林環境教育の充実、間伐の低コスト化など、いただいた様々な意見を管理経営に反映しました。

《事例》「国有林モニター会議」の開催

〔大阪府箕面市^{みのお}〕（近畿中国森林管理局）



国有林モニター会議



国有林内の「箕面体験学習の森」の視察

《事例》「地域管理経営計画」等策定前の地域懇談会の開催

〔愛知県瀬戸市〕（中部森林管理局 愛知森林管理事務所等）



懇談会における地域の皆さんとの意見交換

○ 積極的な広報活動の推進

ホームページを閲覧者が利用しやすい構成とし、内容の充実に努めるとともに、森林管理局の新たな取組や年間の業務予定等を公表するなど、広報活動にも積極的に取り組みました。

(5) 林産物の持続的かつ計画的な供給

○ 持続的・計画的な林産物の供給

公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を基本とし、自然環境の保全等にも十分な配慮を行いながら、木材の持続的・計画的な供給に努めました。

また、民有林からの供給が期待しにくい大径長尺材等の供給にも努めました。

《事例》地域の伝統行事への木材の供給

〔長野県諏訪郡下諏訪町^{すわ しもすわまち}〕（中部森林管理局 南信森林管理署^{なんしん}）



諏訪大社の御柱祭

○ 木材の安定供給による国産材需要の拡大

集成材・合板工場や大手住宅メーカーへ納入している製材工場等、これまで主として外材を利用してきた大口の需要者に対して、原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しました。

《事例》「システム販売」による低質材の供給

〔福島県いわき市^{いわき}〕（関東森林管理局 磐城森林管理署）



専用コンテナを用いた端材等の積み込み

販売された端材を含む低質材は、チップ生産事業者により、木質チップに加工され、パーティクルボードやボイラー燃料として利用されました。

○ 木材価格急落時の木材供給の調整

平成20年度秋以降の急速な景気悪化を背景に、木材需要が大幅に減退し、木材価格も急激に下落したことから、地域の需給動向に応じた木材供給の調整を行いました。

(6) 地域振興等

○ 国有林野の貸付け

農林業をはじめとする地域産業の振興、住民の福祉の向上等に貢献するため、地方公共団体、地元住民の皆さん等に対して国有林野の貸付けを行いました。

《事例》 地域振興のための国有林野の貸付け

〔長野県木曾郡上松町〕^{あげまつまち}（中部森林管理局 木曾森林管理署）



上松町が整備した森林セラピー体験館

○ レクリエーションのための国有林野の活用

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」として設定し、多くの方々に利用されていますが、これからも利用者ニーズに即した魅力あるフィールドとして活用いただけるよう、リフレッシュ対策に取り組みました。

《事例》 地域の学校との連携による「レクリエーションの森」の整備

〔高知県高知市〕^{れいほく}（四国森林管理局 嶺北森林管理署）



工業高等学校建築科の生徒の皆さんによる展望台の建設

○ 林業技術の開発

地域の特性に応じた林業技術の開発に取り組み、取組成果については、国有林野の管理経営に活かすとともに、現地検討会等を通じて、地域の林業関係者等への普及にも努めました。

《事例》 造林作業の低コスト化に向けた技術開発の取組

〔宮崎県宮崎市〕（九州森林管理局 森林技術センター）



改良型コンテナ苗自動耕耘植付機によるコンテナ苗の植付

(7) 財務の健全性の確保

収入確保に努めるとともに、民間委託化を推進するなどにより、地球温暖化防止対策等に必要な事業費を確保しながら、全体として支出の縮減に努めました。

この結果、前年度に引き続き新規借入金をゼロとし、収入が支出を73億円上回りました。